中学２年　国語科　教材別テスト⑭　「挨拶―原爆の写真によせて」

教材別リメイク版　中学２年　国語　／　「挨拶―原爆の写真によせて」（石垣りん・光村図書『国語２』）
／　漢字・語句・詩の表現技法・読解

２年　　組　　番　　氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

【注意事項】

- 問題は「一」から「四」（Ｐ．１～Ｐ．５）までです。解答はＰ．６～Ｐ．８の解答用紙に書きなさい。
- 大問四は、**教科書『国語２』（光村図書）の「挨拶―原爆の写真によせて」を開いて**解答しなさい。
- この問題用紙には、著作権の関係で**詩の本文はのせていません**。本文は**連・行の番号**でのみ示します。教科書で位置を確かめながら答えなさい。
- 解答は、解答用紙の適切な欄に、ていねいに楷書で書きましょう。
- 句読点などの符号も一字と数えます。

知識・技能　（５０点）

一　次の――線部について、漢字はその読みをひらがなに直し、ひらがなは漢字に直して書きなさい。ただし、送りがなが必要な場合（④⑨⑩⑯⑰⑱⑲）は、必ず送りがなまで書くこと。　１点×20＝20点

① 朝の挨拶をする。
② 原爆の写真を見る。
③ 勤勉な人。
④ 耳を傾ける。
⑤ 悲惨な光景。
⑥ 戦争の犠牲になる。
⑦ 決定的な瞬間。
⑧ 長い沈黙が続く。
⑨ 不当さを訴える。
⑩ 空が曇る。
⑪ きょうふを感じる。
⑫ 新入生をかんげいする。
⑬ しょうげきが走る。
⑭ 幼いころのきおく。
⑮ 重いせきにんを負う。
⑯ 自信をうしなう。
⑰ 合格をいのる。
⑱ 木に名前をきざむ。
⑲ ひもをゆるめる。
⑳ くうしゅうの記録。

二　次の問いに答えなさい。(語句の知識)

2点×7＝14点

(1) 慣用句「耳を傾ける」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　聞こえないふりをすること。　　イ　心を向けて、熱心に聞くこと。

ウ　首を横に曲げること。　　エ　人の話を疑ってかかること。

(2)「油断」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　気がぬけて、注意をおこたること。　　イ　油が足りなくなること。

ウ　判断を人にまかせること。　　エ　急いで物事を決めること。

(3) 慣用句「胸を打つ」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　息が苦しくなること。　　イ　強く心を動かされること。

ウ　自信があると示すこと。　　エ　おこって相手をせめること。

(4)「過去」の**対義語**を、漢字二字で書きなさい。

(5)「危険」の**対義語**を、漢字二字で書きなさい。

(6)「永遠」の**類義語**を、漢字二字で書きなさい。

(7)「警告」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　前もって注意を与え、気をつけるよう強く告げること。　　イ　大きな声で順番を知らせること。

ウ　罪に対して罰を与えること。　　エ　うその知らせを広めること。

三　詩の表現技法とその**効果**について、次の問いに答えなさい。（例文は、この教材の詩とは関係のない、説明用の文です。）　16点

(1) 次の①～④の表現に用いられている技法を、あとの**語群**から一つずつ選び、記号で答えなさい。　1点×4＝4点

① ふり返るな、ふり返るな。

② 静かな夜の町。

③ 君よ、どうか顔を上げよ。

④ 風が泣いている。

【語群】 ア 反復　イ 対句　ウ 倒置　エ 体言止め　オ 呼びかけ　カ 直喩　キ 隠喩　ク 擬人法

(2) ①の技法が詩の中で用いられると、どのような**効果**が生まれるか。「～効果。」の形で、**二十字以上三十字以内**で書きなさい。　3点

(3) ②のような技法が詩の中で用いられると、読者はどのように感じるか。**二十五字以上三十五字以内**で書きなさい。　3点

(4) 詩をいくつかの**連**に分けて書くことには、どのような効果があるか。**二十字以上三十字以内**で書きなさい。　3点

(5) 過去の出来事をあつかう詩で、あえて**現在形**（「～ている」「～ある」など）を用いると、どのような効果が生まれるか。**二十字以上三十字以内**で書きなさい。　3点

思考・判断・表現　（５０点）

四　教科書『国語２』（光村図書）の「挨拶―原爆の写真によせて」（石垣りん）を開いて、後の問いに答えなさい。　50点

（１）題名の「挨拶」と、副題の「原爆の写真によせて」との関係として最も適切なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。４点

ア　原爆の写真をとった人への、感謝の挨拶を述べたものである。

イ　挨拶の正しい仕方について、原爆の写真を例にあげて説明したものである。

ウ　一枚の原爆の写真を見つめた作者が、心の中で発した呼びかけの言葉であり、「挨拶」とはその言葉そのものを指している。

エ　原爆の写真を見た人々が、たがいに挨拶を交わしている場面をえがいたものである。

（２）この詩の中で「あなた」と指されているのは、主にどのような存在か。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。３点

ア　原爆によって命をうばわれ、写真に写っている人。　イ　その写真をとった人。

ウ　作者の身近にいる友人。　エ　戦争を始めた国の指導者。

（３）この詩の中に記されている「一九四五年八月六日」は、何があった日か。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。３点

ア　太平洋戦争が始まった日。　イ　広島に原子爆弾が投下された日。

ウ　戦争が終わった日。　エ　長崎に原子爆弾が投下された日。

（４）この詩が、「いつか」「むかし」などとせず、（３）のように**具体的な日付**を示しているのはなぜか。その**効果**を、**二十五字以上三十五字以内**で書きなさい。４点

（５）この詩では、写真に写った死者の顔と、今を生きている「わたし」や「あなた」の顔とが、重ね合わせられるように書かれている。この組み立てが示しているものとして最も適切なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。３点

ア　写真の中の人と今の人とは、顔かたちがよく似ているということ。

イ　写真を見ても、今の人には何も感じられないということ。

ウ　写真の中の人のほうが、今の人より美しいということ。

エ　写真の中の人と今の人とは、見かけの違いをこえて、深く結びついているということ。

（６）（５）の組み立てによって、読者は写真の中の死者と自分との関係をどのように受け取ることになるか。「～ということ。」の形で、**二十五字以上三十五字以内**で書きなさい。５点

四　（つづき）

（7）この詩には、原爆による破滅について、作者の**認識**が述べられている部分がある。その認識の説明として最も適切なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。［3点］

ア　原爆による破滅は、写真の中の過去の出来事であり、今の私たちの生活とは切り離されたものである。

イ　原爆による破滅は、起きてしまった以上、もう考えても仕方のないことである。

ウ　原爆による破滅は、特別な人々の身にだけ起こった不幸であり、自分たちとは関わりが薄い。

エ　原爆のような破滅はすでにこの場に存在しており、現在も続いている問題である。

（8）この詩の**言葉づかい**が、詩全体にあたえている調子として最も適切なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。［3点］

ア　おだやかで、ねむたくなるような落ち着いた調子。

イ　読者に直接せまってくるような、切迫した調子。

ウ　昔話を語るような、なつかしくやさしい調子。

エ　冗談めかした、軽くにぎやかな調子。

（9）この詩が、「人々」などとせず、「**あなた**」という**二人称**を用いて書かれていることには、どのような効果があるか。**二十五字以上三十五字以内**で書きなさい。［4点］

（10）この詩の**主題**（作者が最も強く伝えようとしていること）を、**二十五字以上四十字以内**で書きなさい。［6点］

（11）あなたがこの詩を読んで受け取った**メッセージ**を、**六十字以上八十字以内**で書きなさい。詩の内容にふれたうえで、自分の考えを書くこと。［8点］

（12）この詩を**音読**するとき、あなたはどのような工夫をするか。**工夫を一つ**挙げ、**その理由**とあわせて二文程度で書きなさい。［4点］

解答用紙①　知識・技能

教材別リメイク版　中学２年　国語　／　教材別テスト⑭「挨拶―原爆の写真によせて」

２年	組	番	氏名

知識・技能　小計

一　漢字 （１点×20）	①		②	
	③		④	
	⑤		⑥	
	⑦		⑧	
	⑨		⑩	
	⑪		⑫	
	⑬		⑭	
	⑮		⑯	

一（つづき）	⑰		⑱	
	⑲		⑳	

解答用紙①（つづき）　知識・技能

教材別リメイク版　中学２年　国語　／　教材別テスト⑭「挨拶―原爆の写真によせて」

２年	組	番	氏名	

二　語句の知識（２点×７）	(1)		(2)	
	(3)		(4)	
	(5)		(6)	
	(7)			

三　詩の表現技法と効果（16点）	(1)①		(1)②	
	(1)③		(1)④	
	(2) 20～30字			
	(3) 25～35字			
	(4) 20～30字			
	(5) 20～30字			

※　記述は、解答欄におさまるように、ていねいな字で書きなさい。句読点も一字と数えます。

解答用紙②　思考・判断・表現

教材別リメイク版　中学２年　国語　／　教材別テスト⑭「挨拶―原爆の写真によせて」

２年	組	番	氏名

思考・判断・表現 小計	合計（100点満点）

四 「挨拶―原爆の写真によせて」（50点）	(1)		(2)	
	(3)			
	(4) 25～35字			
	(5)			
	(6) 25～35字			
	(7)		(8)	
	(9) 25～35字			
	(10) 25～40字			
	(11) 60～80字			
	(12) 二文程度			

※　記述問題は、解答欄におさまるように、ていねいな字で書きなさい。句読点も一字と数えます。（４）（６）（９）は25～35字、（10）は25～40字、（11）は60～80字です。（12）は字数の指定はありませんが、**工夫**と**理由**の両方を書きなさい。